

# トビタテ! 留学

## JAPAN 静岡

### いざ、世界へ! 挑戦者求む!!



2024年度 募集人数

最大 **50** 名

支援金額

21万円～89万円

### ふじのくにグローバル人材育成事業

文部科学省官民協働海外留学支援制度  
～トビタテ!留学JAPAN 新・日本代表プログラム～  
[拠点形成支援事業] 令和5年度採択事業

応募受付

新高校2・3年生 2024年3月19日～4月22日(予定)  
新高校1年生 2024年4月1日～4月30日(予定)

留学期間

2024年7月10日～12月31日の間で  
14日以上124日以内

成績・語学力  
在籍学科  
コース不問

民間寄附  
(企業・団体、個人など)  
による

返済不要の  
奨学金

探究活動を  
伴う留学  
(語学研修等の  
組み合わせも可)

お問い合わせ

Tel. 054-221-3134 / 3674

「ふじのくにグローバル人材育成事業」運営協議会事務局  
(静岡県教育委員会教育政策課)

詳しい情報は [こちら](#) ▶



# 自ら社会に変革を起こし、静岡の未来を創るグローバル人材を目指す！ そんな高校生のための留学支援制度です。

県内の産学官で構成する「ふじのくにグローバル人材育成事業」運営協議会が  
探究活動を伴う県内高校生の留学を応援します。

留学生は、地域や社会が抱える課題に関するテーマを自ら設定し、  
自由な発想と想像力を持って、  
課題解決や社会貢献につながる探究活動を行います。

留学を通じて以下のような素養を身に付けようという意欲を持った人材を求めます。

- 世界の人々との交流を通じて得た学びから、多様な価値観を柔軟に取り入れようとする意欲
- 独自の視点や考えを有し、社会のために貢献しようとする志
- 好奇心を原動力にして、自由な発想で新たな価値を創造する力
- 探究心を持ち続け、視野を広げ情報収集しようとする姿勢
- 失敗を恐れず、未知の領域に試行錯誤しながら挑戦し続ける強い気持ち
- 自らリーダーシップを発揮し、周囲を巻き込む力
- 多様な人々と真摯に向き合い、対話して協働する姿勢



やりたい  
ことを  
行きたい  
場所で  
行きたい  
期間で

求める人物像

対象者

静岡県内の高等学校等(高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校(第3学年以下)、  
及び専修学校の高等課程)に在籍する生徒等、または広域通信制高等学校に在籍し静岡  
県内の通信教育連携協力施設において通信教育を受ける静岡県に居住している生徒で  
あって、日本国籍を有する者又は応募時までに日本への永住が許可されている者

選べる4つのコース

コース名	探究分野	支援予定人数	募集単位
①マイ探究コース	自分の興味・関心等	若干名	個人
②社会探究コース	Society5.0・SDGs等社会問題	若干名	
③スポーツ・芸術探究コース	スポーツ・芸術	若干名	個人 またはチーム (最大4人)
④ふじのくに地域探究コース (静岡県の特性を踏まえた探究)	(A)ものづくり・地域産業 (B)多文化共生・多様性 (C)観光交流促進 (D)農林水産業 (E)その他、スポーツ・芸術等静岡と世界を繋ぐ様々な分野 (F)ものづくり×アジア (G)観光交流×アジア	約40名	
計		約50名	

支援金額

21万円～89万円

※留学先や留学期間、家計基準に応じて決定します。  
(例)米国に1ヶ月間留学する場合…最大41万円(渡航経費の補助を含む)  
台湾に1ヶ月間留学する場合…最大27万円( )

スケジュール



## ～トビタテ! 留学生 静岡の先輩体験談～



山梨日愛多さん(静岡県立静岡高等学校)  
▶▶▶カナダ、バンクーバー(約5週間)  
「バンクーバーで観光事業と航空事業を学ぶ」

静岡をバンクーバーのような世界的都市にするため、  
現地の観光会社や市役所、総領事館などで取材しました。  
またフライトアテンダントについて学ぶため4校の養成学  
校を訪れました。トビタテでの経験一つ一つが臆病な私  
を勇気をだして次々と挑戦する人物へと変えてくれました。

加藤咲穂さん  
(静岡英和女学院高等学校)

▶▶▶アメリカ、ニューヨーク州  
(約3週間)  
「演劇教育が分断の  
世界にどう関われるか」

演劇教育現場で講師助手として活動を行い、SDGs  
の観点から演劇教育を考えるために国連職員に取材  
を行いました。留学エージェントを利用せず、私だけ  
のオリジナルの計画でトビタテに挑戦したことで、  
人生のフィールドが大きく広がりました。



鈴木陽佳さん(静岡県立焼津水産高等学校)  
▶▶▶ミクロネシア(約4週間)  
「綺麗ですべての生き物が安心して暮らせる海へ」

ミクロネシアに海洋調査、海洋保護について学びに  
行きました。今まで知らなかった、見たことのない世  
界が目の前に広がっており、毎日たくさんの刺激を  
もらう中で自分の固定概念に囚われなくなりました。  
自分から行動することに自信が付き、様々なことに  
チャレンジできるようになりました。